

## [83] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2329462>

---

出版情報 : 史淵. 83, 1960-12-25. 九州大学文学部  
バージョン :  
権利関係 :

# 彙報

## 国史学科の動向

◇研究室助手瀬野精一郎氏は九月一日付で、東京大学史料編纂所へ転出された。氏のご活躍を祈る。後任に野口喜久雄氏(昭和三十年卒業)が着任。

◇恒例の秋季見学旅行は、十月十四日、五日の両日にかけて、長崎、島原方面へ、近世における只一の貿易都市としての面影をとどめている数々の遺跡を箭内教授のご説明で見学。島原では最近新史料の発見で注目を浴びた本光寺の調査を行い、多大の成果を上げて、全員意気揚々と帰博した。

◇「九州史学」十六号発行

イベリア訪書記

弘安八年筑前国岩門合戦について

柳川藩藩財政の確立

幕末における諸問題

(九州史学学生ゼミナールの報告)

彌漫文書補遺

史料紹介班目次書

藤原広嗣の乱と隼人

荘園分布図 (伊賀、伊勢、志摩、尾張、

三河、遠江)

◇本年度卒業生卒業論文構想発表

「堺利彦とその思想」

「北村透谷の思想」

「雑役免系荘園と寄人負人」

「島井宗室と博多」

「明治期の人間疎外の展開」

「都城島津藩の被支配層の構成」

「鎌倉幕府と裁許状」

「武士倫理の系譜」

—鍋島藩における「葉隠」の場合—

「自然主義」

「臼杵藩における天保改革」

「長崎の町組織」

—乙名を中心として—

◇大学院学生を対象とする古代史演習が毎週一回、九州工大平野邦雄氏を講師として行われる。第一回は十一月二十六日(土)に行われ、氏が参加された正倉院文書計帳調査について有益な話を伺った。

◇本年度進学は女子一名を含む七名だった。十月二十七日、三更閣で歓迎会を行う。

竹内理三

石井利人

服部泰博

松崎英一

平山孝幸

石松秀明

小坂恒久

水崎雄文

藤田勉

伊東憲吾

河野聚

牛島貞雄

箭内健次

川添昭二

池末美智子

中野健

本郷寅男

川添昭二

桑波田興

卯野木盈二

### 西洋史学科動向

◎今秋、教養部より左記の諸嬢、諸君が進学された。

許山一枝、溝口ケイ子、野見山淑子、板井美紀子、一宮紀子、土田秀子、福田永介、荻尾七夫、水田信、下迫圭介、堀江逸男、権藤猛、温勢順一、原口武憲、熊谷洋（以上十五名）現在員教官を含めて六十四名（内女子十五名）という大世帯である。

◎現在フランス留学中の森洋助教授は、留学を一年のばされて、更に研究を深められることになった。来夏帰国の御予定。

◎西洋史学論輯第八輯発行

グロチウスとルソー

西島幸佑

《VICARIVS》考

—ローマ奴隸制とベクーリウム—

馬場典明

フランス労働党と労働組合

釜瀬洋子

第一次ロシア革命期の農民革命

—その敗因について—

大畑勝

◎西洋史研究会 第百廿二回（九・一七）

A. I. Molok : Prbolemes de l'insurrection

de Juni 1848

白石昌子

第百廿三回（十一・一六）

「大社会主義十月革命の影響下のドイツ共産党の形成」

Hellmuth Kolbe : Die Herausbildung der

kommunistischen Partei Deutschlands un-

ter dem Einfluss der Groben sozialistischen

Oktoberrevolution.

第百廿四回（十一・卅）

I・W・Wの崩壊の原因について

篠塚敏生

◎労働運動史研究会

十一月廿六日

ガボン組合の性格について

黒木泰雄

十二月十日

アーカンソーのシエア・クロツパーとルーズベルト

西島有厚

の農業政策

古賀邦子

### 東洋史学科の動向

人事、永く研究室の為に御尽力されました菊池英夫氏は、本年四月一日付で、東洋文庫研究生となられました。後任の助手は草野靖です。（御報告遅らせたことをお詫びします）

教養部より平川周造・藤井正昭両君の進学を迎えました。

第七十回研究会

北宋禁軍の更成について

高木純一

### 考古学科の動向

◎七月二十二日～二十九日 久留米市国分町所在筑後国分寺址測量調査、小田富士雄、鶴久嗣郎、古賀寿

◎八月十四日～三十一日 長崎県南高来郡北有馬村原山所在縄文晩期の支石墓群調査、本調査は日本考古学協会西北九州総合調



經營研究	四六号	經營 研究会
人文研究	一一卷六号~八号	大阪市立大人文学会
地学雜誌	六九卷三号	東京地学協会
東西学術研究所 論叢	三三~四五	關西大東西学術研究所
山口経済学雜誌	一〇卷四号~ 一一卷二号	山口大経済学会
研究と資料	九号	大阪市立大経済研究所
経済理論	五七号	和歌山大経済学会
法学論叢	六七卷四号~六号	京大法学会
芸林	一一卷三号~四号	芸林会
岐阜史学	二九号	岐阜史学会
研究報告	一一集	東京学芸大学
アメリカナ	六卷八号~一一号	米国大使館
東方学	二〇輯	東方学会
人文地理	一二卷三号~五号	人文地理学会
文化	二四卷二号	東北大文学部
国学院雜誌	六一卷六号~八 九号	国学院大学
神道宗教	二二号	神道宗教学会
北大史学	七号	北大史学会
地方史研究	一〇卷四号~五号	地方史研究協議会
歴史	二〇輯	東北史学会
朝鮮学報	一六輯	朝鮮学会
歴史地理	八九卷四号	日本歴史地理学会

經濟論集	一二卷一号	大分大経済研究所
經濟科学	八卷一号	名古屋大経済学会
社会科学論叢	一〇号	長崎大学芸学部
古代学	八卷四号	古代学協会
三重県立大学研 究年報	三卷三号	三重県立大教養部
經濟論叢	八六卷一号~四号	京大経済学会
文學論集	一〇卷一号	関西大文学会
地学雜誌	六九卷四号	東京地学協会
史泉	一九号	関西大史学会
史苑	二一卷一号	立教大史学会
兵庫史学	二四号~二五号	兵庫史学会
白山史学	六・七号	白山史学会
文學論叢	二〇輯	愛知大文学会
文学会志	一一卷一号	山口大文学会
文学會論集	一二卷	甲南大文学会
文化史学	一五号	文化史学会